

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホームけやき
(ユニット名)	
所在地 (県・市町村名)	群馬県安中市宿1-9-17
記入者名 (管理者)	南 貴美子
記入日	平成 19 年 10 月 25 日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↑  取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	尊厳のある生活で、地域社会の一員として生活が送れるように、理念を掲げている。	
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は、掲示してあり、職員の入職時に説明し理解して貰いケアを振り返り、理念を確認して意見の統一を図っている。	
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	パンフレット、けやき新聞、等、家族や地域の人々に配布したり、地域の行事に参加して地域の人々に溶け込んでいる。	
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	毎日の散歩や、お花を買ったり見せて頂いたり、地域の行事に参加したり、ボランティアに来てくださる方が隣近に住んでいる方なので声掛けくださり、野菜等頂いたり、芋掘りをさせて頂き気楽に付き合える関係を築いています。	
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区のお祭り、持ちつき大会、芋掘り等を誘って頂き、地元の人々と交流が出来ており、利用者と一緒に参加しています。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域運営推進会議で介護教室を開催したい旨を地区に問い合わせたので区長さんからの返事を待っているところです。	○	実習生の受け入れ、地域で認知症の相談等に取り組んでいきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価の結果を、ミーティングで報告して改善に向けて前向きに取り組んでいます。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で取り組みの報告や、話し合いを行っており、意見があればサービスの向上に生かしている。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	常に市町村の介護高齢課とは連絡を取り合っており、実情を話している。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	以前、成人後見人制度を利用する方が入所していたので学ぶ機会があり必要な人には活用できるよう支援できます。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法の勉強会で学び理解を深め虐待行為を周知徹底するようにしています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時十分な説明をしており、疑問点や理解できないところは納得いくまで説明をしています。特に利用料金、起こりうる危険リスク、重度化、看取り等の確認書、医療連携体制等、説明,同意を得ています。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居者の人の意見には耳を傾けており、意見も言える雰囲気関係作りをしています。介護相談員が2ヶ月に1度派遣で来てくださり、利用者の相談に乗って頂いています。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の来訪時には必ず、声がけをして、暮らしぶりや、エピソードなど話し合っています。心身の異常時には、速やかに報告しています。また、けやき新聞を発行しており、様々な報告しています。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情相談機関、群馬県国民健康保険団体連衡会の相談専用の窓口を紹介しています。今のところ苦情はありませんが意見等あったら投書箱に入れておくか遠慮なく直接言ってくださいと伝えている。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>日頃から、コミュニケーションを図るよう心がけておりミーティング、勉強会を開いて意見や要望を聞き、反映している。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>状況に応じたローテーションで、必要な時間帯は、職員数を増やして調整しています。夜間の対応は利用者の変化に応じた体制が取れています。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>退職後、遊びに時々来て頂いています。引継ぎの時間をとって、スムーズに職員の交代を移行しています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>認知症介護実践者研修、社会福祉等施設長の研修、介護支援専門員の研修、安中市介護研究会等に計画的に参加しております。研修の報告は会議等で発表して頂いていません。</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>安中市で行われている連絡会議、ケアプラン検討会等で他のグループホームとの交流があり、協働してサービスの質の向上に努めています。</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>個人面接や、忘年会、お茶飲み会等で親睦を図り職員の悩みや、ストレス等職員同士の人間関係を把握し環境作りに取り組んでいます。</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。</p>	<p>運営者も毎日出勤しており、一人ひとりの職員の悩みや、ストレスを把握しており、また資格を取得して、ケアの向上が出来るように働きかけています。</p>	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>事前面接で、不安や困っていることや求めていること等把握して、話を聴き前向きに受け止めて、信頼関係が築けるようにしている。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご家族の求めている事や不安なことや困っていることなど、あるかどうか伺って、方策を考えていきます。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人、家族の希望や状況等確認して支援を見極め、本人やご家族に見学に来てもらったり、本人との面談をして、対応しています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学に来ていただいたり、入所している施設に訪れたり、面会し早く慣れるように対応したり、他の入居者との関係を取り持ったり、場の雰囲気作りを支援しています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	レクリエーション、畑仕事、掃除、ドライブ、カラオケ、外食、誕生日会、季節の行事を行い、同じ食事を同じテーブルで頂き、毎日の散歩を一緒にして喜怒哀楽を共にしております。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	季節の行事に参加していただき、本人を支えていけるように支援しています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	時々、家族に電話を差し上げて報告したり、行事等に参加して頂き本人と家族の関係が良好になるように支援しています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人、知人が遊びにきて下さる様に働きかけています。本人が行きたい場所へは、ホームの車でお連れしております。床屋、美容院は、行きつけのところに行く事の支援をしています。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	車椅子使用者を、歩行可能な方が洗面や、散歩時に車椅子を押しており、利用者同士が係わり合い支え合っています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		
34	<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>		
35	<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>		
37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	水分、食事量、排泄、バイタル等日々の個別の観察を介護記録に記録して、情報を共有し関係者と連携して介護計画に活かしています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	緊急時等、自宅で介護が困難になった時介護予防の柔軟な支援をしています。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	駐在所、消防署、ボランティア(踊り、ハーモニカ、詩吟、合唱、傾聴ボランティア、紙芝居、整容等)協力しながら支援している。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	骨折後の機能訓練の為に、他の施設でリハビリを行うことを勧めたが本人、家族の希望、意向がなく当所に入所していた希望でした。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人の必要性に応じ権利擁護は、後見人制度を利用しました。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人家族が希望するかかりつけ医となっており、かかりつけ医が月2回の往診に来て頂き、情報を交換して入院が必要な場合には引き受けて頂いています。		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	名前の呼び方、対応の仕方などの接遇問題の研修を時々行っており、特にプライバシーは徹底して職員と話しあっています。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	食事の希望を聞いたり、行きたい所への希望を取ったりしてレクリエーションも希望を聞いて行っています。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食べたい物、行きたい所、したいこと等、常に入居者の意向を取り入れて、希望に沿って支援しています。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	洋服選びや、化粧品選び、石鹸、シャンプー等は本人が選んでおり髪のカットや毛染め等もボランティアの方が来て下さっていますが行きつけのお店に行く支援もしています。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は入居者と一緒に楽しみながら食事をしています。食事の準備は、出来る方にはテーブル拭き、野菜の皮むき、筋とり等をして頂いています。食事の片付けは、出来る方に下膳をして頂いています。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	一人ひとりの状況に合わせて、日常的に酒、たばこ、コーヒー、ココア、牛乳等、好みの物を召し上がって頂いています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、トイレに誘導して出来るだけオムツはずしを行っています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日以外でも、希望があれば入浴することができ、入浴順番もなるべく希望を取り入れて、入浴を楽しむことが出来るよう支援しています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	好きなソファで休息したり、眠ったり、その人に応じた支援をしています。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	歌や踊りの好きな方には、カラオケで歌ったり踊ったりしており、縫い物が好きな方には、雑巾縫い、ボタン付け、洗濯たたみ等をして頂いたりしています。新聞を取りに行く、食事前の号令かけなどその人の生活歴を考慮し役割分担で、楽しみごとや気晴らしの支援をしています。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族の協力を得て、本人の希望により財布に数千円を入れて持っており買物ツアー時、介護者が付き添って買物をしています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・買物・ドライブなど、どちらの方面に行くのか伺って、行きたいところの希望をとってドライブをしています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	月1回以上のドライブや行事として、普段いけない場所に行っています。(墓参り、花見、碓氷湖、バラ園、フラワーパーク、梨園、イオンショッピングセンター等) 家族と出掛ける際には、菓とおにぎり、お茶を持って頂き、外出の援助をしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自ら電話が出来るように支援しています。出来ない方には、職員がダイヤルを回して家族と話せるように支援しています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問者には挨拶して、コミュニケーションを持ちいつでもお茶やお菓子で接待し、利用者と一緒に楽しく過ごせるよう配慮しています。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束マニュアルを作成しており、研修等で学び、具体的な身体拘束をしないケアに取り組んでいます。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は研修などで鍵を掛けることの弊害を理解しているが、徘徊者が数名いるので、玄関ドアは二重にしてあり、外側の玄関は常時開けてあり、内側の玄関のみに鍵を掛けています。家族には説明し、納得を得ています。	○	二枚の玄関ドアの開放は交通量の多い道路を前にしているため、交通事故の危険を生じるので開放は無理と思われる。入居者の出入りは希望により付き添いながら行っている。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	24時間定期的に、訪室、点検をしております安全に配慮しています。昼間は、ホールで過ごしている様子把握しています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	厳重に保管すべき物、利用者が使う時注意が必要なもの等分けて管理しており、針仕事が出来方には裁縫箱を持たせているが針の本数は、こちらで決めて点検し、安全を期しています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	救急の知識を繰り返し学んでおり、ヒヤリハット等があれば振り返り、二度と同じことが起きないように研修しています。事故が発生した場合、速やかに事故報告書を作成し、家族への説明と報告を行っており、事故原因の予防に努めております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	施設内研修で、急変、事故発生に備えての応急手当を学び、事故発生時に備えています。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年二回の避難訓練をしており、地域の方にも協力を得られるようにしています。避難場所は玄関前に掲示してあります。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	転倒危険の人、嚥下困難の人、呼吸困難で酸素吸入している人、徘徊している人等については家族の方に事故の危険性があり、その対応等について話あっています。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェック、排便、排尿、食事量のチェック、水分摂取量のチェック等をしており、異変がある時には、かかりつけ医と情報を共有し、早期発見と対応に結び付けております。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医療機関との連携を図り、医師に処方していただいた処方箋は綴っており、薬の目的、用法、用量について理解しており、正しく薬の保管、服用の支援をしています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便チェック表により便秘かどうか把握し、その予防と対応に務めています。起床時、冷たい水、牛乳を飲んで頂き、腹部のマッサージ、散歩、食物繊維の多く含まれている食事を召し上がって頂き、自然排便が出来るように取り組んでいます。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、全員が口腔ケアを行っています。義歯の消毒、洗浄、保存を徹底して行っています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりに合わせて食べる量の確保、栄養バランス、水分量のチェックを行なって、ADLに合わせた食事介助、支援をしています。(粥食、刻み食、ミキサー食、とろみ食等)		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルがあり、感染症対策をしています。インフルエンザは、利用者、職員が毎年予防注射を受けています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日、台所、調理用具はハイターで消毒し、食材については毎日、その日に購入したものを使い切るように買い求め、残り物は冷凍したり処分しています。新鮮、安全な食材の使用に努めています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	家庭的な雰囲気になるように、玄関周りには植木や鉢植えを置き、庭先でお茶を飲めるようにテーブル・椅子を設置しています。四季の花が楽しめ、親しみやすく、安心して出入りが出来るようにスロープをつけています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	窓にはすべてカーテンがあり、日差しの配慮をしており、天井は高く、天窓や、大きなファンで換気をしています。ホールには観葉植物と季節の生け花が飾られています。雛飾り、七夕、十五夜、クリスマスツリー等の飾り付等生活感や季節感のある物を活用して利用者の方と共に楽しんでいきます。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファとテーブル、椅子が何箇所か置いてあり、仲のよい人と過ごしたり、一人になれたり、過ごせるような居心地の良い空間となって居ます。絵画や書や季節の生け花を飾っています。喫煙希望者には他の利用者に配慮した喫煙場所の確保をしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家で使用していた馴染みの物ラジオ、テレビ、鏡台、好きな歌手のポスター、亡き夫の写真等を持ち込みしており、居心地良く過ごせるように支援しています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	ストマーのある人の居室や加齢臭で臭いの強い居室は、酵素による消臭剤を噴霧し、木炭等を置いて特に換気に務めています。冷暖房は外気温との差がないように、湿温度計と利用者の様子を見ながらこまめに調節しています。トイレは換気扇と消臭剤で悪臭予防している。		
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの手すり、ホールの手すり、浴室の滑り止めマット等を敷き、安全で自立した生活が送れるようにしています。テーブルの角も丸くしてあります。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレや自室がわからない人には、わかるようにマスコットとを付けたり、見守りや声掛け、誘導し安全で自立した生活が送れるよう支援しています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭のけやきの木の下にテーブルと椅子が設置しており、お茶を飲んだり、レクリエーションをしたり、野菜の皮むき、筋とり等をして楽しんでいます。		

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない



項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・庭には大きなけやきの木があり、その下でテーブルを囲んでお茶飲みやレクリエーションを楽しんでいます。 ・畑があり、過去の経験を生かして利用者が、草取りや野菜作りをして収穫を楽しみにしています。 ・隣のお店に立ち寄り植木や季節の切花を買ったり、見せて頂き地域の人との会話を楽しんでいます。 ・散歩は毎日日課として行っており、新鮮な空気に触れ季節を感じる事ができ、また地域の人との出会いを楽しみにしています。 ・ドライブは月一回の行事で出掛ける他に希望に従って行きたい所に出掛けて楽しんでいます。 ・ホールは天井・天窓が高く換気に気をつけており、部屋は明るく気持ちよく過ごすことができます。 ・ボランティアの方がハーモニカ・詩吟・紙芝居・踊り・歌に来てくださり、利用者の方は歌ったり踊ったり楽しまれています。 ・食材は季節の野菜などを地域の方に頂き、新鮮な物を摂れています。 ・家族の面会も多くあり、職員は笑顔で接しており、利用者・家族と信頼関係を築いています。 ・事業者が地域の方々との交流が多くあり、お祭り・餅つき大会・芋ほり等に参加させて頂き楽しんでいます。 ・週一回布団干しをしています。 ・レクリエーションは色々な遊びを考え、毎日行っています。歌が好きな方が多く、カラオケも行っています。 ・一日三回食前に嚙下体操を行っています。鬼石モデルの筋力トレーニングも行っています。 ・緊急時の対応は常勤の看護師が勤務しており、医療との連携は密に取れ、看取りは本人、家族の希望により安心して、その人らしく尊厳をもって終末期を過ごせるように支援します。